

New Topics

無痛分娩を経験した ママと家族の思い



友愛
会だより

Yuuakaidayori

VOL.61 June 2025



岩砂病院・岩砂マタニティ 受付時間のご案内

休診日：日祝日、
12月30日～1月3日

内科	内 科	月	火	水	木	金	土	受付時間
	午前診	○	○	○	○	○	●	9:00～11:30
	午後診	◎	—	—	—	◎	—	14:00～16:00
	夕 診	●	●	●	●	●	—	16:00～18:00

予約ダイヤル

058-231-2631

○内科診察(事前予約も可能) ●内科診察(予約不可)
◎完全予約制
(予約受付時間/13:00～17:00)
※詳細は受付へお問い合わせください。

婦人科	婦人科	月	火	水	木	金	土	受付時間
	午前診	○	○	○	○	○	○	9:00～11:30
	午後診	○	○	○	△	○	○	13:00～15:00(月～金) 14:00～15:30(土)
	夕 診	—	○	—	—	○	—	17:00～19:00

予約専用ダイヤル

058-232-1777

○婦人科診察(検診含) △検診のみ(一般の診察はおこないません。)
※婦人科は診察も検診も完全予約制となっています。
(予約受付時間/9:00～17:00)
※詳細は婦人科受付へお問い合わせください。

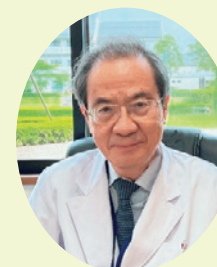
産科	産 科	月	火	水	木	金	土	診察時間
	午前診	○	○	○	○	○	○	9:00～12:00 受付時間 9:00～11:30
	午後診	—	—	—	—	—	○	14:00～17:00 受付時間 14:00～16:30
	夕 診	—	○	—	—	○	—	17:00～19:00 受付時間 17:00～19:00

予約専用ダイヤル

0120-038183

お さん は い わ さ
(予約受付時間/9:00～17:00)
※詳細は産科受付へお問い合わせください。
産科専用玄関が病院西側にあります。
内科等他科の患者さんと接触がないよう配置されております。

新任医師のご挨拶



介護老人保健施設
山県グリーンポート施設長 **林 勝知**

この度、山県グリーンポートの施設長として着任しました林です。私は、昭和49年岐阜大学医学部を卒業し21年外科・20年救急・5年岐阜県赤十字血液センター所長・5年緩和ケアセンター長を歴任し、50年勤務医として働いてきました。その間、中濃厚生病院の院長として病院の管理も行いました。

これらの経験を生かして、老健施設に入所される方々に良い多職種によるチームリハビリを行い、ADLの向上により、在宅での療養ができるように、当施設の運用をさせていただきますので、宜しくご理解の程お願い致します。



内 科 **亀井 真琴**

今年の4月から岩砂病院・岩砂マタニティの内科で勤務させていただくこととなりました亀井真琴と申します。三重県出身で、大学より岐阜にやってきました。岐阜大学医学部卒業後、岐阜県で消化器内科医として勤務してきました。消化器内科・内視鏡を

専門としておりますが、専門以外もできる限り患者さんの力になれるよう研鑽したいと思っております。この地域に引越してきて日が浅く若輩者ではありますが、地域医療に貢献できるように努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

友愛会HP



編集後記

今回の特集では、産科の無痛分娩についてご紹介しました。医療の進歩や時代の変化と共に、選択肢が広がりつつあることを知っていただけたのではないのでしょうか。新たな家族を迎えた、ご家族の幸せいっぱいの表情が印象的でした。取材や撮影にご協力いただいた皆さまにお礼申し上げます。(N)

当院でも2023年12月より

たくさんの方々が無痛分娩で出産されました

昨年の分娩割合ではおよそ14.5%の方々が

無痛分娩を選択されております

安全な無痛分娩を提供するための取り組み

当院の無痛分娩は、硬膜外力
テーテルを挿入するのは産科医
師、その後の麻酔と分娩管理は助
産師が行います。

無痛分娩を開始するにあたり、
医師・助産師ともに、無痛分娩を
行っている施設で研修を行っ
たり、外部講師を招き、講義を受け
たりしました。現在も、毎月講師
の指導のもと、無痛分娩の振り返
りを行っています。安全な無痛分
娩の提供、産婦さん・ご家族に寄
り添った出産となるように、一同
全力で取り組んでおります。



無痛分娩とは

無痛分娩とは、分娩時に麻酔を用いて陣痛の痛みを和らげる方法です。「無痛分娩」という呼び方のため全く痛みを伴わない出産方法と思われがちですが、そうではなく和痛と考えてください。

麻酔方法には硬膜外麻酔と脊髄くも膜下麻酔があります。硬膜外麻酔は妊婦の背骨の隙間から脊髄に細いチューブを挿入し、下半身の痛みを緩和する方法です。脊髄くも膜下麻酔は硬膜外麻酔と同様に痛みを緩和する方法ですが効果が短時間のため通常の出産で使用することは少ないです。



「何人産んでも痛いものは痛いです」

今回、8人目の出産で、初めて無痛分娩を選択された方の感想です。

「今までの出産とは違って、痛みがない分、赤ちゃんが降りてくるのを感じることができました。生まれてくることをただ楽しみに過ごせる時間でよかったです。」と晴れやかな笑顔が印象的でした。

日本には古くから「お腹を痛めて産むべき」「我慢は美德」「お産の苦しみに耐えてこそ、子への愛情」という偏った思想・文化があり

ます。この考えを否定するわけではありませんが、一方でこの考え方は妊産婦さんに大きな負担となっている可能性があります。

しかし陣痛の痛みを恐れることのない妊娠生活を送り、そして痛みのない安心した出産を望む人があるのは至極当然のことではないでしょうか。

歯科での抜歯や、胃カメラでは当たり前のよう使用する麻酔と同様、気軽に痛みを緩和を考えても良いのではないかと思います。

無痛分娩は、 分娩方法のひとつです

無痛分娩を理解し、
妊婦自身が納得して
選べること

無痛分娩を迷う理由のひとつに麻酔に対する不安を口にされる方がいらつやいます。

無痛分娩に限らず、医療行為には必ず副作用やリスクが存在します。

当院で無痛分娩を考えられている方は、ご夫婦で無痛分娩セミナーを受講していただいています。医師・助産師より無痛分娩の方法やメリット・デメリット、入院からの流れや注意点などを説明して選べるような支援を心がけております。



無痛分娩

麻酔で陣痛を和らげ
産後の回復も早い

海外での「無痛分娩」普及率

フィンランド	89%
フランス	82.2%
アメリカ	73.1%
イギリス	60%
韓国	40%

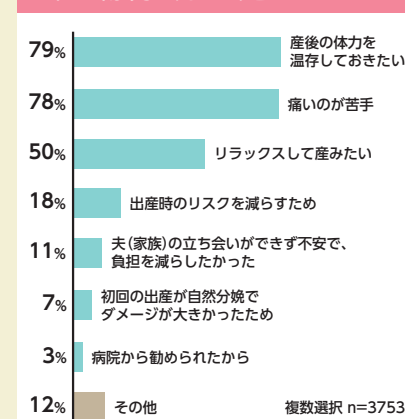
「無痛分娩」1位 費用が高い 59%

2位	実施している病院が少ない	48%
3位	麻酔への心配	35%
4位	医療事故などのリスクへの不安	28%
5位	家族の反対 など	7%

実施している病院が遠く交通費と「無痛分娩」の上乗せを考えると高すぎました…

里帰り出産したけど実家から行ける距離には「無痛分娩」を実施している病院はありませんでした

無痛分娩を選ぶ理由



費用・医療体制も要因に…

日本で無痛分娩が少ない要因には、高額な費用の負担がかかることや、麻酔科医が対応できないという理由で実施できない施設も多くあるというのが現状です。

医療事故や安全性への不安を持つ人もいます。

出典：日本産科麻酔学会

2023年12月より無痛分娩開始

たくさんの方々から喜びの声が上がっています

人が産まれるって
こんなにしあわせなこと
だったんだなあ。

ママがうらやましい。
いいなあ。私も産みたいな。

無痛分娩のメリットとして

- ① 産後の体力の温存
- ② 産痛の緩和

などが挙げられます。

出産された方々から、数々の感想が寄せられています。

「一人目の出産後は体力がなくて育児が大変だった。今回は本当に楽です」

「痛みがないことで身体が楽だった」

「赤ちゃんが産まれてくる感覚を感じることができた」

「心の余裕があることで出産の感動を味わうことができた」

中には出産の神秘さを体感することができた方もいらしたようです。



立ち会われるご家族にとって、リラックスして過ごす産婦さんの姿は、出産に対する安心感へと繋がるようです。

迷いがある中、ご主人の後押しで無痛分娩を決定された方もいらっしゃいました。

② スタッフの想い

「痛みを我慢しなくていいよ」
「無痛分娩はいい選択だよ」
ご家族の理解も、産婦さんが無痛分娩を選ぶための心強い支援となっているように感じます。



私たちは、無痛分娩を選択された方に寄り添い肯定し、前向きに出産を迎えられるようサポートしたいと思っています。そして、無痛分娩を安全に提供できるプロフェッショナルな助産師でありたいと思っています。

新たな家族を迎え、育児のスタートラインで、母親が心身ともに健康であることは、とても大切な要素となります。

妊娠・出産・産後の方に寄り添い、健全なお子様の発育やご家族のあゆみを精一杯お手伝いしていくことが、私たちの使命だと思っています。



看護部通信

回復期リハビリテーション病棟の転倒・転落予防

回復期リハビリテーション病棟とは

当病棟は、脳血管疾患や骨折後の患者さんの日常生活動作の獲得を目指して、集中的にリハビリテーション治療を行う病棟です。治療を進めるためには患者さんができる動作を病棟生活に積極的に取り入れていく必要がありますが、その一方で転倒・転落をいかに防ぐかが大きな課題です。

当病棟の転倒・転落予防チームの活動

当病棟は、脳血管疾患や重症患者さんの割合が多いこともあって、全国平均より転倒・転落率が高いことがわかりました。そのため転倒・転落予防チームでは「患者さんのニーズを予測して転倒を予防する」を目標に、症例検討や個別性に合わせた対策を行っています。転倒・転落発生時には24時間以内に多職種で話し合い、環境面の調整やセンサー類を利用するなどの対策を立てています。

転倒・転落には重症度のレベルがあります(1)。転倒・転落が発生しても大きな怪我にならないような対策をしています。その結果、昨年度は骨折に至る転倒・転落は0件でした。

転倒・転落には、時間帯や場所など起こる要因があります(2)(3)。それらを考慮した対策を行うことで、患者さんに安心、安全な入院生活を提供していきます。

1 転倒重症度レベル

軽「患者への実害がなかった」
「処置や治療は行われなかった」
←「簡単な処置や治療を要した」
重「濃厚な治療を要した」

2 転倒・転落が起きやすい状況

時期：入院初期
時間帯：6時～9時
発生場所：病室、トイレ
行動理由：排泄関係、物を取る
発生動作：移乗動作、起立動作

3 転倒・転落要因

外的要因(例：段差、照明)
内的要因(例：加齢、身体的な問題)
行動要因(例：注意力低下、スリッパ使用)
環境要因(例：家具、コード)
身体的問題(例：筋力低下)



障害物のない廊下



踏むとナースコールが鳴るセンサーマット





今日のメニューは
豆腐ハンバーグ♪



住み慣れた家、地域で暮らしたいと願う 気持ちをサポートします

生活支援

食事作りや洗濯、掃除など日常生活のサポートを行っています。
利用者さんが住み慣れた家でできるだけ今まで通りの生活を続けることができるように、自立支援を大切にしています。

生活支援と身体介護を合わせ、おひとりおひとりの環境や状況に応じた支援を行うことで、家での生活をできるだけ長く続けられるように努めています。

介護研修を定期的に行いスタッフの技術向上と、質の高い介護サービスの提供に努めています。

身体介護

身体を拭いたりオムツ交換などのケアを行っています。清潔の保持や寝たきりにならないようにオムツ交換時に足を動かしたり、今の身体機能を少しでも維持する支援を行うことで、ご家族様の介護負担を減らし、利用者さんが快適な暮らしを継続できるように配慮しています。

●介護福祉士資格取得者

10名

●喀痰吸引研修了職員

5名

重度の障害を持った方の支援にも対応しております。
「いつでもご相談ください！」



社会福祉法人友愛会 特別養護老人ホーム

山県グリーンブレZZ

よみがえる感動の歌声 〜オールディーズライブ再び〜

当施設の多目的ホールが、特別な熱気と感動に包まれました。

この日を心待ちにされていた利用者様をはじめ、職員やボランティアの方々が集まり、名古屋セントスで活躍する人気オールディーズグループ「ブギーパラダイス」のリーダー・ヴィッキー様を中心とした3名によるライブイベントが昨年7月に開催されたのです。

開演前から会場には期待感が満ちあふれ、「どんな曲を演奏してくれるかな?」「昔よく聴いたあの曲も歌ってくれるかしら?」と、利用者様同士が楽しそうに会話を交わされる様子が見られました。

そしていよいよ、ブギーパラダイスのメンバーが登場すると、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

一曲目の演奏が始まると、会場の空気は一変。懐かしいメロディーと力強いボーカルが、聴く人の心に深く響き渡ります。

「ダイアナ」や「ロコモーション」といった往年のヒット曲が披露されるたびに、利用者様の表情は輝きを増していききました。自然と手拍子が起こり、リズムに合わせて体を揺らす方、口ずさむ方、中には感極まって涙を流される方もいらっしゃいました。

また、メンバーの温かい笑顔や、一人ひとりに語りかけるようなパフォーマンスが会場全体を和やかな雰囲気包みました。

曲の合間には、ユーモアあふれるMCで場を盛り上げ、利用者様からのリクエストに応える場面も。まさに一体感

に満ちた、かけがえのないひとときとなりました。

イベント後には、

「まるで夢のような時間だった」

「久しぶりにあんなに楽しい気持ちになれた」

「ヴィッキーさんはじめ、皆さんの演奏に元気をもらえた」といった、たくさんの感謝の声が寄せられました。

職員一同、利用者様の笑顔を見ることができ、このイベントを開催できて本当に良かったと心から感じています。

そして嬉しいお知らせです。今年の7月にもヴィッキーさんをはじめとするブギーパラダイスの皆様にお越しいただく予定です! 昨年の感動を再び、多くの方と分かち合える日が今から待ち遠しいです。

